

特別支援教育 校内研修プログラム集・研修プラン

障がいにより特別な支援を必要とする幼児児童生徒は、全ての学校・園に在籍する可能性があり、全ての教員が特別支援教育についての基礎的な知識及び技能を有する必要があります。

校内研修プログラム集及び研修プランは、特別支援教育に関する研修に活用できる資料を集め、紹介するものです。各学校・園の実態や状況に応じて活用してください。先生方の学びが、子どもたちの『愛顔あふれる学校・園生活』につながることを願っています。



※最新版は、愛媛学びの森で御確認ください。

校内研修プログラム集には、次のような工夫を行っています。

工夫
その1

基礎・基本が分かる！

特別支援教育の基礎的・基本的な内容を中心に紹介しています。各学校・園の実態や状況に応じて選択し、活用してください。

工夫
その2

1項目の研修時間は20分！

短時間の研修にも対応できるように、1項目の研修時間を20分程度に設定しています。ショート研修として活用するのもよし、項目を組み合わせるロング研修にするのもよし、自由にアレンジして活用してください。

工夫
その3

多様な形態で学べる！

パワーポイント、PDF、Webサイト(動画等)などの資料を幅広く紹介しています。集合型研修、資料配布による研修、各自で行う研修など、多様な研修形態に対応できます。

研修プランは、複数の校内研修プログラムを組み合わせ、目的に応じて活用する方法を示したもので、以下のテーマごとに作成しています。

- 障がいの特性の理解と教育的対応について（4プラン）
- 各校の実態に応じた支援体制について（5プラン）
- 切れ目ない支援体制について（2プラン）
- 個別の教育支援計画
 - ・個別の指導計画作成について（2プラン）
- 就学・進学について（2プラン）



愛媛県イメージアップ
キャラクターみきゃん
まじめ課長

校内研修プログラム集の各資料について

パワーポイント

パワーポイント資料のノート部分には、読み原稿を付けています。各学校・園の実態や研修のねらい等に応じてご活用ください。

集合型研修で活用できるな。



学校と保護者(本人)の確認シート

本人・保護者との合意形成

作成した計画内容

関係機関との情報共有

進級・転出・卒業時の引継ぎ

※同意を得られない場合は、公的な場所で活用したり、引継ぎ資料として提供したりすることはできない。

それでは各シートについて説明します。まず、「確認シート」です。このシートは、合意形成を確立するためのものです。パッケージは、学校園と本人・保護者が協力して活用するという観点から、作成した計画内容や関係機関との情報共有、進級・転出・卒業時の引継ぎに関して、本人・保護者との合意形成を図り、保護者同意となれば押印をします。逆に、同意が得られない場合、公的な場所で活用したり、引継ぎ資料として提供したりすることはできません。学校長は、「個別の教育支援計画」作成の責任者として、本人・保護者と合意形成を図る前に、内容について確認し、その上で年度末に全ての記載内容を確認し、押印します。なお、このシートに学校園名、本人・保護者名を入力すると、他のシートにも自動入力されます。

PDF

PDF資料は、必要な部分を印刷して、資料やワークシート等として活用することもできます。

資料配布による研修にいいな。



インクルDBを活用した研修の参考にしてください。

- ・インクルーシブ教育システムとは
- ・合理的配慮について

基本的な事項を記載しています。

国立特別支援教育総合研究所

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会 より

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会 より

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会 より

特別支援教育の推進

Web サイト(動画等)

発達障害教育推進センター

発達障害のある子どもの教育に関する教員を主な対象として、発達障害のある子どもの教育的支援に必要な基礎的知識について、個人や職場での研修に活用いただけるよう講義を動画で配信。

研修講義動画

NITS 独立行政法人教員支援機構のオンライン講座

全国の学校教育関係機関に、豊富で質の高い研修機会を提供するため、校内外、校内、自己研修を問わず、いつでもどこにいても研修が可能となるよう、「校内研修シリーズ」を始め、講義動画などの研修教材を提供しています。

オンライン講座視聴方法

- 1 「NITS 独立行政法人教員支援機構」のホームページ (https://nits.nise.go.jp/) にアクセスし、「オンライン講座」をクリックする。
- 2 「校内研修シリーズ(テーマ別)」又は「新学習指導要領(教科別研修シリーズ)」等をクリックし、視聴したい動画を選択する。

研修に役立つweb サイト(動画等)へのアクセスの仕方について紹介しています。

動画等資料は、研修の事前・事後に各自視聴することで効率よく研修することができます。

各自で行う研修に使えるね。



研修プランの活用の仕方について

研修の目的に応じて、校内研修プログラムの一部または全部を組み合わせ、40～50分の研修を行う研修プランを作成しています。研修プランは、5項目15プランあり、教員用Webサイト「愛媛学びの森」学習支援サイトに掲載しています。

<研修の内容> 就学・進学について（小・中学校教員向け）	
<時間・準備物等> 15分 パソコン、プロジェクター 研修プログラム資料	<使用する校内研修プログラム> 1 1-5-①「保護者との連携」（スライド6～10） 2 1-6-②「卒業後（進学、就労）」（スライド8） 3 1-7-①「早期からの一貫した支援の充実」（スライド12） 4 1-7-②「多様な学びの場について」（スライド5）
<研修の流れ> 1 本日の研修の内容や流れを説明し、研修の目的を確認 2 講義（約15分） （1）1-7-①「早期からの一貫した支援の充実～知っている、適切な進学先を決定するには、早期からの一貫した支援の充実～」 （2）1-7-②「多様な学びの場について」（スライド5） 3 演習① 保護者役に分かれて、懇談（相談）の演習を行う。 演習① ⇔ 教員B （保護者役） ⇨ ディスカッション ⇨ 演習② 教員A ⇔ 教員B （担任役） （保護者役） 保護者に特別支援学級入級を勧めたいが、保護者は、特別な支援は必要ないと考えたケース（様子） （担任役） 「特別支援学級に入級してほしい」という気持ちを伝えることが苦手で、思ったことをすぐ口に出してしまい、友達とトラブルが多い。 ※事例については、各校の実態に応じて、適宜設定する。 4 感想発表や振り返りアンケートへの記入等を行い、研修のまとめをする。（約3分）	
<研修後に望む教師の姿> ○ 就学・進学についての基礎的な知識を身に付ける。 ○ 保護者の気持ちを考えた相談の在り方を知る。	

時間・準備物等

使用する
校内研修プログラム及び
使用するスライド番号

研修の流れ

※ スライドや図等を使って、具体的に分かりやすく例示しています。

※ 演習や協議、事例検討会等、研修形態の例を示しています。

研修後に望む教師の姿

愛媛学びの森に掲載しているよ。



地域リーダーが選びました

通常の学級の担任を含む特別支援教育の経験の浅い先生にぜひ知ってほしいプログラムは？

- ・「障害の状態等に応じた教育的対応」
(知的障害)(自閉症)(情緒障害)(学習障害)
(注意欠陥多動性障害)
- ・「発達障害って、なんだろう？」
※ミニ研修(スライド1~14)でも使えるよ。
- ・「特性の理解(発達障がいの周辺)」
※ミニ研修(スライド6~10)でも使えるよ。



他にも、次のプログラムはミニ研修にも使いやすいよ。

- ・「二次障害の理解と対応(13)」
- ・「えひめ特別支援パッケージの活用について」(スライド5~11)
- ・「書くことが苦手な子(5)」

<p>小学部の各教科等</p> <p>生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、特別の教科である道徳(道徳科)、特別活動(特別活動)については、特に必ず履修を促す。全ての子どもに履修させる。特別活動は、必要に応じて設けることができる。</p> <p>社会科、理科、家庭科の教科の内容を生活科に包含する。</p> <p>中学部の各教科等</p> <p>国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育及び職業・家庭の各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動については、特に必ず履修を促す。全ての子どもに履修させる。特別活動は、必要に応じて設けることができる。</p> <p>特に必要がある場合には、その他必要な教科を選択教科として設けることができる。</p>	<p>1. 注意欠陥多動性障害の理解</p> <p>① 概要</p> <p>注意欠陥多動性障害とは (AD/HD: Attention Deficit/Hyperactivity Disorder)</p> <p>年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力又は衝動性・多動性を特徴とする障害であり、社会的な活動や学校生活を営む上で著しい困難を示す状態</p> <p>「通病」である前に「個性」その個性が障害するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不注意、又は衝動性・多動性を示す状態が継続し、かつそれが社会的な活動や学校生活を営む上で著しい困難を示す程度の状態を指す <p>原因 → 中枢神経系に行きわたる要因による機能不全があると推定</p> <p>② 具体的な状態像</p> <p>ア 不注意 気が散りやすく、注意を集中させ続けることが困難であったり、必要な事項を忘れたりすることが多い。</p> <p>イ 衝動性 話を最後まで聞いて答えることや順番を守ったりすることが困難であったり、思いどくままに行動して他者の行動を妨げたりすることが多い。</p> <p>ウ 多動性 じっとしていることが苦手で、常に多動な行動があり、話したりするにもかかわらず、落ち着いて活動や課題に取り組むことが困難であること。</p>	<p>① 発達障害とはどんな障害？</p> <p>発達障害は、脳機能の発達が関係する障害です。発達障害がある人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手です。</p> <p>また、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と評され、敬遠されることも少なくありません。</p> <p>その原因が、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障害によるものだと周囲の人が理解すれば、接した方も変わってくるのではないのでしょうか。</p>
<p>② 主な発達障害の特徴は？</p> <p>1 広汎性発達障害</p> <p>コミュニケーション能力や社会性に関連する脳の領域に関係する発達障害の総称です。自閉症、アスペルガー症候群のほか、レット症候群、小児期解離性障害、特定不能の広汎性発達障害を含みます。</p> <p>▶ 自閉症</p> <p>自閉症は、「言葉の発達が遅れ」「コミュニケーションの障害」「対人関係・社会的な障害」「パターン化した行動、こだわり」などの特徴をもつ障害です。最近では、自閉症スペクトラムと呼ばれることもあります。</p> <p>▶ Aちゃんの例</p> <p>自閉症のAちゃんは、急に予定が変わったり、初めての場所に行ったりすると不安になり、動悸が激しくなることがあります。</p> <p>その不安を、周りの人が察知すると、赤粉に不安が高まって突然大きな声を出してしまうことがあります。</p> <p>周りの人から、「どうしてそんなに不安になるのかわからないの、何をしてあげたらいいかわからない」と言われてしまいます。</p> <p>でもよく知っている場所では、一生懸命、活動に取り組むことができます。</p> <p>▶ 教育インターネットテレビ自閉症講座をご覧ください。</p>	<p>何かに取り組む(学習したり、仕事をしたりするとき、頭の中のパズルの形や色を整理して、組み合わせよう。</p> <p>パズルの形や色の整理の仕方を具体的に教える。</p>	<p>学校と保護者(本人)の確認シート</p> <p>学校と保護者(本人)の確認シート</p> <p>本人・保護者との合意形成</p> <p>作成した計画内容</p> <p>関係機関との情報共有</p> <p>進級・転出・卒業時の引継ぎ</p> <p>※同意を得られない場合は、公的な場所で活用したり、引継ぎ資料として提供したりすることはできません。</p>

- 愛媛県教育委員会の提供する資料の著作権は、愛媛県教育委員会事務局に帰属します。
- 愛媛県総合教育センターの提供する資料の著作権は、愛媛県総合教育センターに帰属します。
- 各指定団体の Web サイト等の資料の著作権は、当該指定団体に帰属しており、その利用については、各指定団体が設定した条件に従うものとします。



問い合わせ先

愛媛県教育委員会事務局 指導部 特別支援教育課

〒790-8570 松山市一番町四丁目4-2

■ TEL 089-912-2967 ■ FAX 089-912-2964
■ E-mail tokubetsushien@pref.ehime.lg.jp
■ HP <http://ehime-c.esnet.ed.jp/shougaiji>